

令和8年熊本地震への支援について(社会貢献活動)

令和8年7月28日に発生した令和8年熊本地震への支援として、物資の支援や炊き出し活動を行いました。この支援にかかった資金は、日ごろから入所者が行っている園で採れた野菜の販売や道の駅なかつでの物販活動により得た収益を「社会貢献活動」として充てています。

熊本地震で被災された皆様の日常生活を一日でも早くを取り戻せますよう豊寿園入所者、職員一同、今後も応援していきます。

◆物資の支援活動（7月29日）

地震の翌日に支援活動に向かう NPO 法人リエラさんのご協力で、熊本県氷川町にある福祉施設に必要な物資を届けて頂きました。施設では電気も水も出ない大変な状況とのことで水や電灯類、おしりふきシート、ドライシャンプーなど軽バン1台分の物資を送りました。



◆炊き出し活動（8月19日）

避難生活が長引く中で、温かいものが食べたい、さっぱりしたものが食べたいとの声を聞き、炊き出し活動を八代市の避難所(八代市第五中学校)で NPO 法人リエラさんのキッチンカーをお借りして炊き出しを行いました。

支援当日は約30世帯が避難されており、焼きサバ弁当を50食、鶏の照り焼き弁当50食にみそ汁を付けて配布しました。多めに作りましたがあっという間になくなりました。



～避難されている方からの声～

「避難所にきて初めてお弁当を食べることができた。いつもはどんぶり形式ばかりだったのでとてもうれしい。」

「92才になるおばあちゃんがおいしいとあっという間に完食していた。ありがたい。」

「ごはんがおいしいので子どもがおかわりしたいと言っています。」 →実際におかわりしました！

